

株式会社 筑南電設

- ・ 本社所在地 筑後市
- ・ 業種 建設業
- ・ 事業内容 電気工事・電気設備の工事施工
- ・ 設立年 1988年
- ・ 従業員数 60人
- ・ テレワーク導入部署 総務・経理部
- ・ テレワーク導入対象 1人



CHIKUNAN

テレワーク導入のきっかけ

仕事と育児を両立できる環境を構築し、子育て中の女性の退職を予防

女性社員が産休・育休後も仕事と育児を両立し、働き続けることができるよう、週2～3日の在宅勤務ができる環境を整える必要があった。併せて業務のペーパーレス化を図り、さまざまな仕事を自宅や作業現場など事業所以外でもできるようにしたいと考えた。

テレワークによる課題解決の方法

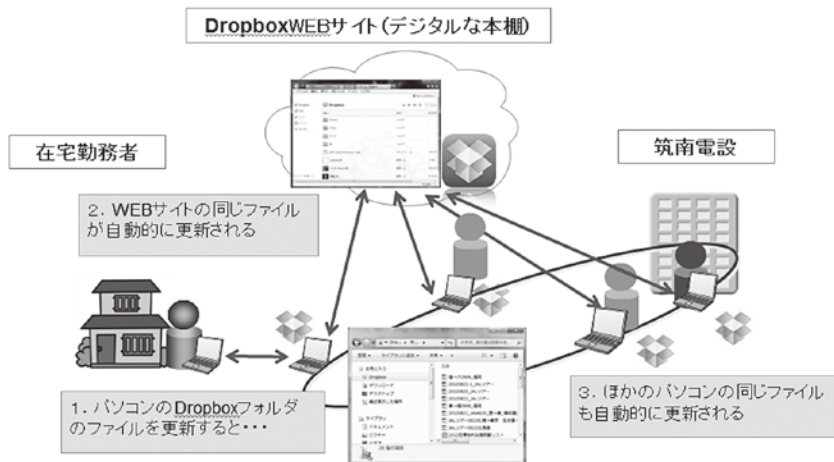
クラウド利用、ペーパーレス化、コミュニケーションのデジタル化など、仕事の進め方を変革

- ◎ クラウド上で提供されるDropboxのサービスを利用
→ 場所にかかわらず、社員が簡単に資料を共有できるようになった。

- ◎ ネットFAX利用によるFAXのデジタル化、スキャナー利用による名刺や領収証の電子データ化
→ ペーパーレス化が進んだ。

- ◎ メールアドレスを一人に一つ付与し、社員間の連絡をメモ紙、口頭、電話からメールに集約
→ コミュニケーションのデジタル化が進んだ。
また、伝達事項が記録に残るので業務効率も向上した。

「デジタルな本棚」に書類を保管します



「Dropboxフォルダ」(デジタルな本棚)を使って、担当者間で書類データのやりとりができます。どのパソコン内の「Dropboxフォルダ」のファイルも、自動的にすべて同じものになります。

テレワーク導入に関する感想・評価



◆企業担当者の感想◆

現業企業でもテレワーク導入が可能

「電設という業種ではテレワーク導入はできない」、というイメージがありましたが、業務の切り分けを実施し、事務作業部分を明確化することで、テレワークが可能な業務を特定できました。

また、在宅勤務導入を機にオフィスのIT化を進めました。ネットFAXの導入によるFAXの電子化、処理速度の速いスキャナーの購入による書類の電子化を進め、ペーパーレス化を目指しています。

社員への個別メールアドレス付与、キャビネットのクラウド化が実現したことで、在宅勤務はもちろん、それ以外でも作業効率の向上を期待しています。

◆テレワーク導入のポイント◆

子どもの急な病気もテレワークがカバー

育休明けは、子どもの急な病気等で保育園から呼び出しがあったり、看病のために出勤できなくなるものがよくあります。

そうした場合でも、自宅で子どもの様子を見ながら仕事ができれば、安心して働き続けることが可能となり、本人はもとより、会社にとっても人材が確保できるという大きなメリットになるといえるでしょう。

テレワーク導入までの道のり

- 2012年 6月25日 啓発員訪問
- 2012年 7月 6日 コーディネーター訪問、ヒアリング
- 2012年 7月24日 コンサルタント訪問、基本方針の確認
- 2012年 8月21日 コンサルタント訪問、業務棚卸実施
- 2012年 9月 6日 コンサルタント訪問、導入計画提示
- 2012年10月 3日 コンサルタント訪問、検討結果ヒアリング
- 2012年11月19日 コンサルタント訪問、状況ヒアリング

導入ツールとコスト(概算)

合計 133,800円(初年度年額)

■ネット環境構築	・PC購入等	76,650円
■ファイル共有	・Dropbox	無料
■ネットFAX	・初期費用	1,050円
■スキャナー	・スキャンスナップ	49,800円
■勤怠管理システム	・F-chair使用料	6,300円